

# ま ち の 話 題

## 豊 岡

奈佐小学校日食観察学習会

刻々と形を変える太陽に感動！



▲三日月型の太陽の変化に釘付けの児童ら

晴天に恵まれた5月21日、奈佐小学校校庭（吉井）で日食観察学習会が行われました。県内では、282年ぶりに金環日食が見られました。市内では部分日食を観測。同校児童・幼稚園児や保護者ら約100人は、地元天文グループに所属する谷口衣津美さんに「明るさや温度差などを五感で感じて」との指導を受け、刻々と変化する太陽の形を観察しました。約9割が欠ける（最大食）午前7時半をカウントダウンで迎えた子どもらは「すごい」「きれい」と歓声を上げていました。中村美月さん（5年）は「こんなきれいな日食は初めて」と、天体ショーを楽しんでいました。

## 城 崎

きのさき語りぐさめぐり  
いっしょにい

思いをはせながら

6月2日、きのさき語りぐさめぐり（全5回の2回目）を開催しました。

講師の坂田文一郎さんから、志賀直哉の「城の崎にて」に登場する桑の木や古い道しるべなどの話を聞きながら現鑄物師戻峠へ。鑄物師戻トンネルは昭和50年に完成と聞いた時、参加者の六浦拓男さん（城崎町湯島）は「阿金（竹野町）出身の母は、トンネルができたらずくに実家に行けるのと言っていた」と話していました。旧鑄物師戻峠を登っていくと、伝説の大岩も見え、湯島地藏尊に到着。かつてここにあった茶屋で、行き交う人が一服していた往時の姿が浮かんできました。



▲道中安全祈願の経文の下に「左あし谷道」などが刻まれている古い道しるべ

## 竹 野

竹野スノーケルセンター・ビジターセンター  
20周年記念イベント  
20歳の施設に子どもたちの笑顔が溢れる



▲いろいろな生きものに感動。大浦湾は大にぎわい

6月2日と3日の2日間、竹野スノーケルセンター・ビジターセンター（竹野町切浜）で、同センター20周年記念イベントが開催され、多くの家族連れなどにぎわいました。当日は、講演会や海ホタル観察会、ジオ・カヌー、スノーケル教室などが行われ、参加者は初夏の大浦湾を満喫しました。2日目のその生きもの観察教室では、シロウミウシやドチザメ、アカヒトデなどを発見。参加した後藤真凜さん（中竹野小3年）は「アメフラシを触るとぬるぬるしていた」と笑顔でした。大浦湾の魚や海藻がたっぷりの特製潮汁が振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

## 日高

第12回日高地域ソフトドッジボール大会

### ボールは柔らかいけど

### 当たられるのはちよつと…

6月9日、日高文化体育館で、日高地域の小学生を対象にしたソフトドッジボール大会を開催しました。

参加した12チームが、AとBのブロックに分かれて2試合ずつを行い、それぞれ上位2チームが決勝トーナメントで対戦しました。

選手たちは、相手にボールを当てたり、逆に当てられたりして一喜一憂し、また、そのたびに観客席から歓声が上がると、会場は熱気に包まれていました。

「八代侍IV」が危なげない試合運びで優勝しました。試合の勝ち負けに関係なく、子どもたちは爽やかな笑顔を見せていました。



▲相手を狙うも、うまくかわされたり、受け止められて反撃されたり…それでもみんなは笑顔でプレー！

## 出石

### 出石のまちを「レッツあるウォーキング」

### ウォーキングで出石のまちの良さを再発見

6月8日、出石の歩キングコースで、ウォーキングイベントを開催しました。約100人の参加者は、のんびりコース(約3キロメートル)としつかりコース(約5キロメートル)に分かれて、城下町出石のまちを歩きました。休憩場所の観光スポットでは、市職員が観光ガイドとなり、その場所の歴史などを説明。市マスコット「玄さん」も駆け付けて、ジャンケン大会を行い、イベントを盛り上げました。参加した田中美喜朗さん(戸牧)は「多くの参加者と一緒に歩いて楽しかった。出石のまちの中で、普段訪れる機会がないところを見ることができてよかった」と話していました。



▲インストラクター 小西晶子さんの指導を实践しながらウォーキングする参加者ら

## 但東

まちむらたんけん

### 資母地区を元気にしたい!!

5月27日、高齢者生活支援センターのぞみ(但東町畑山)でまちむらたんけん(同実行委員会主催)が開催され、資母地区民ら約50人が参加しました。

まちむらたんけんとは、地域の魅力や課題を探り、地域社会の成り立ちや暮らしの在り方を体感する取り組みです。参加者は、島根大学准教授の作野広和さんから説明を受けた後、普段住み慣れた地区内を「たんけん」しました。2班の班長の今出敏男さんは「子どもの時以来、久しぶりに歩いた道もあり、廃虚になっている建物を見るとつらかった。何とかしなくては」と決意を新たにしていました。



▲こんな所にお地蔵さんが！ゆっくり歩いてみると、住み慣れた地域にも発見がいっぱい